

67期11班



▲開店の準備をするクルー達

マクドナルド 二十三号鈴鹿店

8月2日に鼓ヶ浦駅から徒歩で五分の場所にあるマクドナルド二十三号鈴鹿店を伺い話を聞いた。主にマクドナルドでは接客と商品製造に力をいれている。ここでは、十五歳から八十歳で六十五人程度の幅広い世代で働いていることが分かった。シフトは一番多い人で週六で八時間働いている。



▲マクドナルド23号鈴鹿店の外観

安全性と快適さを 大切に

お話によると、一番気をつけていることは特に安全だそうである。具体的には、食品を保管している場所の温度を毎日計測したり、賞味期限にもとても気をつけたりしているそう。食品の安全の他にも、気を使っていることはいくつもある。例えばお客さんにいつも笑顔で対応すること、室温に気を使い、お客さんが快適に過ごせる空間を作ることなどである。お客さんとの会

話だけでなく、様々な観点から、お客さんが快適に過ごせるように接客しているようだ。

嬉しいこと 新人が一人前に

最後に、働いていて大変な時と、嬉しい時を伺った。大変なのは、人が足りない時にお客さんが来た時だそう。また、コロナが流行していた時期が特に大変だったそうである。定員の人がコロナにかかり、人手不足になっている状態の中で、テイクアウトをする人達への対応が大変だったそう。最後に、働いていて嬉しいことは、新しいクルーが一人前になった時。新人が美味しい商品を作れるようになるの嬉しいそうである。

それと関連してホームページによると「ハンバーガー市にシステム開発による専門機関がある。マクドナルドは、人材育成に力を入れている。そういったところから、常に笑顔で優れた接客はできているのだろう。笑顔をかかさず続けられているのは「スマイル0円」言われているだけである。